

## 卒業式です



#18899604

数理探究科は第24回、家政科は第69回、普通科は第72回の卒業証書授与式が挙行されました。本来ならば、2年生である君たちが素晴らしい卒業式を創り、先輩たちを送り出すはずだったのですが…残念ながら、それは叶いませんでした。この状況がいつ落ち着くのかはわかりませんが、どこかのタイミングで感謝の気持ちは伝えたいですね。どのようにできるかをイメージしておきましょう。

ちなみに、野球部は卒業式当日の朝に清掃活動を行う予定でした。今回からは野球部だけでなく、いつも休日に清掃活動を行っているバスケット部などにも声をかけ、また美化委員会とも協働して、より多くの人たちを巻き込んで実施できたらと思っていたところでした。

## 在校生代表「送辞」

生徒会長でもある7組の片岡真優奈さんが在校生を代表して、心を込めて「送辞」を述べてくれました。みんなにも聞いてもらって、共有してほしいような内容でした。高比良先生に指導していただき、時間をかけて作りあげられたものです。みなさんも先輩たちの姿を思い出しながら、読んでみてください。

### 送辞

心地よい春の風を受けながら自転車をこいでいると、そのときが迫っているのだと感じます。やさしい日差しのもとでは、大高坂の桜のつぼみが開花のときを待っています。

本日、大村高校を旅立たれる301名の先輩方、ご卒業おめでとうございます。先輩方の門出にこうして立ち会えることに万感の思いを抱きながら、皆さんとすごしたかけがえない日々が思い出されます。優しく、後輩である私たちに、いつも丁寧に接して下さった先輩方。周りへの気遣いを忘れず、謙虚に努力を重ねていらしゃった皆さんは、近くて遠い、憧れの存在でした。



6月、高総体。最後の舞台に挑む先輩のためにと、放課後、各部の応援歌が太鼓の音と一緒に、学校中に響いていたのを覚えています。選手のサポートに走るマネージャー、運動部の勇姿をカメラにおさめる文化部の姿もありました。三年間苦楽をともにした仲間との絆、試合中の熱い眼差し、あの涙は、その場にいた人々の心を揺さぶりました。あの時の先輩方の姿を胸に、私たちは今、部活動に励んでいます。



9月、体育祭。雨で練習が中断される度に、団長たちが臨時の練習割り当てを作ってくださいましたね。当日も朝から大雨で、競技を予定の半分にして実施しました。仮装の途中では、音声が途切れるトラブルもおこりましたが、曲の続きをアカペラで披露してくださいました。大高団結エールでは、さきほどまで戦っていた4色が肩を組みあい、先生や同窓会の方も含め、大村高校が一つになったと感じました。目を閉じると、大高愛につつまれたあの光景が鮮明に思い起こされます。

先輩方に感銘を受けたのは、行事だけではありません。早朝補習の前、私が「今日は、早くついた」と思った日でも、隣の教室には、黙々と机に向かう先輩方の姿がありました。自身の道を定め、一心に前進される先輩方を尊敬し、そうなりたいと奮起したのは、私だけではないはずです。

家政科調理室の方から漂ってくる、おいしそうなにおい。思わず笑顔がこぼれました。家政科の先輩方は、調理や裁縫、保育実習や福祉活動などで実践的なスキルを磨かれました。ファッションショーの際は、裏方を気遣う様子もありました。思いやり溢れる先輩方の周りには、多くの笑顔があったように思います。



白衣を着て実験データをとっていた数理探究科の先輩方。調査のために、毎週、校外へ出かけた班もあったと伺いました。身近な問題提起や多方面からの考察、英語を用いた発表など他の教科とつながりをもたせた学びは、私たちのSSHの活動で生かせそうなものばかりでした。疑問をとことん追求する姿勢は、まさに大高生が目指すべき姿そのものだったように思います。

そうした先輩方が作り上げてこられた大村高校を、これからは、私たちが受け継ぎ、次につないでいきます。未熟な私たちですが、大高愛は、先輩方にも負けないほどです。皆さんが率いてくださった大好きな大高を、さらに誇れる学校にしていく決意です。

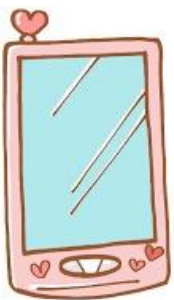
さて、皆さんは福岡県出身で医師の中村哲さんをご存知ですか？紛争が続くアフガニスタンに用水路を作り、緑の大地を復活させ、現地の感染症患者数を減らした方です。目の前の患者を救うだけでは、未来の感染者までは救えないと、問題の根幹である水に着目し用水路を作り上げたのです。

あらゆる事象が交錯する現代では、目の前の問いをじっと見つめ続けるだけでは本当の解決策は見えてきません。真の課題達成には、主体的に考え、共働することが大切だと考えます。

そしてこれらは、先輩方が高校生活の中で実践されてきたことです。この先は、さらに多くの人と出会うことで、その力を伸ばし、困難を乗り越えてゆかれるのだと信じています。ここでの学びを糧に、どうか、力強く、明日への一步を踏み出してください。先輩方が切り開かれる未来が楽しみでなりません。

本日は、在校生の出席はかないませんでした。この場に出席できなかった生徒の思いも同じです。希望に満ちた未来を先輩方が歩んでいかれることを切に願い、ここに、送辞といたします。

令和2年 3月1日 在校生代表 片岡 真優奈



### さて、どう過ごしていますか？

不安だと思いますが、前を向いて顔晴りましょう。すまいるずです。この2日間はどう過ごしていますか。もしかすると、家族で過ごす時間が増えたりしているかもしれませんね。もしそうであれば、いろんな話をしてみてください。スマホとの関係を見つめなおすタイミングであるかもしれませんね。このタイミングで依存するようなことがないように、自分自身をコントロールする力をつけてください。

### 毎回確認してください

- 「感染予防」を確実にしている
- 「学習の記録」を記入している
- 「自宅学習」を行っている
- 「すまいるず」をHPで確認している

